

# チョウゲンボウの子育て日記



うおずみまちづくりきょうぎかい



くすのん



チョウゲンボウの特徴

ハヤブサの仲間の猛禽類

全長 30cm~40cm

春にユーラシア大陸から日本へやってくる

4月、5月に抱卵、巣立つまでにさらに

1か月程度かかるといわれています

5月19日（火）

みなさんはチョウゲンボウという野鳥は知っていますか？

実は昨年このチョウゲンボウが魚住小学校の校舎の一角に巣

を作り子育てしました。そして、今年もやってきて今、子育ての

真っ最中です。今日からこのチョウゲンボウの子育て日記を少

しずつお知らせできればよいなあと思っています。

5月20日（水）



雛がかえってからのチヨウゲンボウは主にオスは獲物を探し

にノネズミや小鳥などをくわえて巣に帰ってきます。一方、

メスはえさをやる時以外は巣から離れ巣が見渡せる場所で

一日中警戒の目をゆるめません。上の写真のアンテナにいます

時々巣から雛の鳴き声も聞こえてきます。あと、2〜3週間

で巣立っていくのでじょうかっ…

5月24日(日)

雛は全部で5羽いました。巢の入口まで顔を出し親が持つて

帰ってくるえさを待っていたり、初めてみる外の世界に興味

深そうにのぞいていました。今日の写真は知り合いの方が一眼

レフの良いカメラでとってくださいました。右側の写真は親が

子にえさを与える様子です。左側は巢を飛び立つ様子です。





ここにエアコンの設備があります。  
ひなはこの中に引っかかってしまったよう  
ですが、用務員の石田さんが助けてくれた  
ようです！  
ありがとうございます(\*^O^\*)

5月27日(日)

今朝は、雛の1羽が向かいの4階教室まで飛び出しましたが  
上手く着地できず、中庭に設置されたエアコン設備に引っかか  
ってしまいました。幸い用務員さんの石田さんが見つ付けてく  
れ、長い棒で救出してくれました。しばらくすると救出された  
雛はおらず、無事に巣に帰っていたようです。残りの4羽はま  
だ巣からのぞいているだけですが、いよいよ巣から飛び出したの  
かな。。。

5月28日（木）

今日は親鳥がえさを捕まえてきても、以前とは違ってえさを

雛に届けず、雛を巢の外に出そうと思いつつも外から鳴いてい

ました。雛も5羽いる中で1羽が飛びたちえさをもらっていま

した。このような様子を他の雛たちもみていました。

子育てもいよいよ終盤で慌ただしくなってきました。



5月29日（金）

今日の午前中は1羽をのぞき、まだまだ巣の外に出て飛ぶことに対して四苦八苦してます。親鳥は雛たちの様子を心配しながら遠くから見守っています。

しかし、夕方チヨウゲンボウの様子を見に行くと、午前中には飛ぶ勇気の無かった雛たちが飛んでいました。これで5羽いる雛のうち4羽が飛べるようになりました。まだまだ、危なっかしい様子ではありますが、これから大空を滑空できるように頑張ってほしいですね！



6月3日（水）

ついについに最後の1羽の雛が巣立ちました。さあ、その雛は上の写真のどっちのどっちでしょうか。答えは1番最後に書いてあります。まだまだ、おつかない状況です。他の兄弟姉妹はもう親たちと遠くまで出かけているようです。飛行にええと取り、これから生きていく上で必要なことをそれぞれ教わっているのかな？



1羽のひなのいる場所の絵

ひなまつりの日に、ひなのいる場所の絵を描いてください。



6月4日（木）

今日のチョウゲンボウの様子です。ひなはたくさん訓練を

重ねています。1日中飛ぶともなるとやはり疲れるのかな？

上の写真に3羽のひなが隠れています。どこにいるかわかりま

すか？答えは1番最後に書いてあります。



このページの著作権は、  
© 2014 株式会社 学研出版

このページの著作権は、  
© 2014 株式会社 学研出版

6月5日(金)

今日も幼鳥たちは元気に巣から出て、飛行訓練やえさ取りの練習に励んでいます。夕方になると巣の近くに帰ってきて、

アンテナの上や校舎屋上の端で羽を休めています。よく見てみるとアンテナの上にいる1羽は羽ばたく練習をしているのがわかります！



6月6日(土)

巣立った幼鳥はどこで寝るのでしょいか？今日はそれを確か

るべく、少し遅い時間まで頑張ってみました。18時15分頃親

鳥も含め5羽が飛び回ってにぎやかな様子でした。(左の写真)

19時頃もう一度チョウゲンボウの様子を見に行くと、辺りは

暗くなっていますが、巣に戻るチョウゲンボウはいません。

巣の向かいの校舎に4羽静かに並んでいました。それぞれ好き

な場所で寝るのかな？夜の20時に最後にもう一度様子を見

に行くとやはり巣ではなく外で眠っていました。また明日。。。



6月7日(日)

今朝の日の出の時刻は4時47分。朝の早いときのチヨウゲン

ボウはどういった様子なのかも観察しました。野鳥は明るくな

るとすぐに朝ご飯の時間です。右側の様子は巢の近くで食事を

している様子です。自分でえさを取りに行ったのか、親からも

らったのかはわかりませんが、すくすく育っています。

左下の写真は別の2羽が近くのマンションへと飛んでいく様子

です。毎日観察していると行動範囲も広く、たくましくなっ

ているのがわかります。



6月9日（火）

チョウゲンボウたちはお昼間には全員外へ出かけており、巣

の近くには1羽もいませんでした。しかし、15時頃くらいには

少しずつ戻ってきました。帰ってきてチョウゲンボウたちは休

む間もなく、今度は巣の近くを飛行、滑空していました。上の

写真のどりにチョウゲンボウがいるでしょうか？答えは1番最

後に書いてあります。



ヒント！

飛行・滑空というと写真の  
どのあたりにチョウゲンボウは  
いるかな？



海沿いでいるチョウゲンボウの巣の場所

↓白色の校舎のまわりを1羽のチョウゲンボウが飛んでいます。

6月11日(木)

梅雨に入り、そして今日の昼間は曇り空

南風を受けてホバリングの練習をしていました(写真右)

ホバリングとは空中でヘリコプターのように頭を動かさず

一点に止まることを意味します。これが出来ると上空から

地面のハタネズミなどをじっくり狙えるようになります。

みんなずいぶんたくましくなってきました。夕方にかけて

は雨が降っているため、校舎のひなしで雨宿りをしています

す。(写真左)



6月12日（金）

今日は梅雨の晴れ間、太陽が出てきた午後いつものとは違う

17号池の土手から観察してみました。チョウゲンボウたちは

皆めちらちら入出かけているようです。15時すぎに2羽が

どこからともなく現われて学校の上空を気持ちよさそうに旋

回しています。そして、小学校の北西に位置するマンシヨンの

屋上で休んでいました。今日の写真でチョウゲンボウを見つけ

ることはできますか？ すくすく小さいですがわかりますか？



6月13日(土)



今日は1日中、雨です。小雨になったかと思えば、激しく降ったり飛行訓練やえさ探しも大変です。15時過ぎに様子を見に行くと1羽だけが巣の中へ。しかし、辺りを見渡しても他の家族はいません。17時すぎに見に行っても心細そうに身を乗り出していました。「みんなはまだ帰ってこないのかな。。。」「このチヨウゲンボウは最後に巣立ちをした一番末っ子のような気がします。」



6月16日（火）

梅雨の合間の晴天！朝からチョウゲンボウはどこかに出かけ

ていましたが、14時頃に1羽のチョウゲンボウが帰ってきまし

た。どうやら休む場のお気に入りのひとつとして校舎に校章

がついたてっぺんにいます。少し休憩するとこのチョウゲンボ

ウは学校の上空を気持ちよさそうに滑空していました。



6月19日（金）

今日は大事件が勃発！ 学校からのSOSで駆けつけると巣

の近くの図工室にチヨウゲンボウが入り何かを食べています。

校長先生は刺股を教頭先生は虫取り網を持って準備完了。

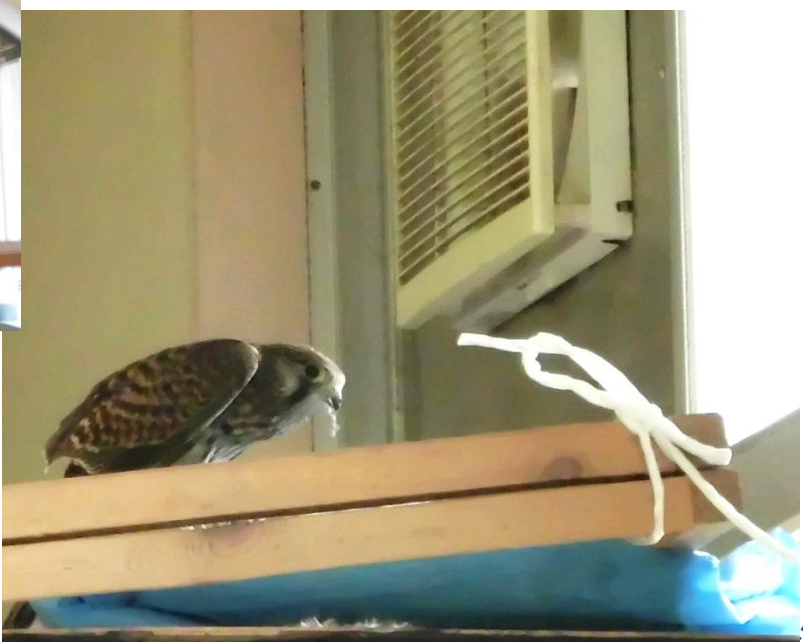
チヨウゲンボウは小さな小鳥をついばんでいました。5分ほど

静かに様子を見守っているとランチを終えて室の中を1周。

そつすると窓から大空へ羽ばたいていきました。

食べ終わった後は、鳥の羽が散乱していたので片付をし終了。

この小学校はお気に入りの場所のようです。



6月24日（水）



チヨウゲンボウの子育て日記も、いよいよ最後の日を迎えます

した。巢の気配が昨日から少し変わり、今日も朝から何回も様

子を見に行きましたが、どこにも姿がありません。チヨウゲン

ボウたちは飛びたつていったようです。北の山なのか、あるい

はもっと遠いところかわかりませんが、無事に巣立ったことを

さびしくもあり嬉しくも思います。また、来年元気な姿で

チヨウゲンボウたちと再開できることを願っています…



チヨウゲンボウ子育て日記

2020年7月1日

監修…かわしま ゆきお

写真…かんざわ まさとし・けいじ

まつむら よしふみ

編集…きくい よしき